

かみふらの 平成17年度

# まちの予算

町の予算総額は  
122億3千250万円

一般会計、特別会計、企業会計を合わせた町  
予算総額は122億3千250万円で前年対比7.7%  
の減（10億2千278万円減）の財政規模となり  
ました。

各会計の予算は、下記の表のとおりです。

平成17年度上富良野町各会計予算

（単位：万円）千円単位四捨五入しています

会計名	平成17年度	平成16年度	比較	対比	一般会計からの補助・繰出金等		比較		
					平成17年度	平成16年度			
<b>一般会計合計</b>	73億6,200万円	79億5,300万円	59,100	7.4					
特別会計	国民健康保険特別会計	11億3,313万円	11億6,879万円	3,566	3.1	11,340	12,266	926	
	老人保健特別会計	11億6,932万円	13億9,231万円	22,299	16.0	8,503	9,440	937	
	公共下水道事業特別会計	3億6,430万円	3億9,570万円	3,140	7.9	14,216	18,116	3,900	
	簡易水道事業特別会計	6,688万円	2億3,314万円	16,627	71.3	4,338	4,417	79	
	介護保険特別会計	6億5,261万円	5億7,302万円	7,959	13.9	10,984	9,997	987	
	ラベンダーハイツ事業特別会計	2億8,100万円	2億7,770万円	330	1.2	89	570	481	
<b>特別会計合計</b>	36億6,723万円	40億4,066万円	37,343	9.2	49,470	54,806	5,336		
公営企業会計	病院事業 会計	収益的収入	8億5,294万円	9億1,981万円	6,687	7.3	2億2,507	2億5,000	2,493
		収益的支出	8億5,294万円	9億1,981万円	6,687	7.3			
		資本的収入	1億0,133万円	8,145万円	1,988	24.4			
		資本的支出	1億0,133万円	8,145万円	1,988	24.4			
	水道事業 会計	収益的収入	1億8,254万円	1億8,465万円	211	1.1	1,073	1,087	14
		収益的支出	1億8,254万円	1億8,465万円	211	1.1			
		資本的収入	0万円	110万円	110	100.0			
		資本的支出	6,646万円	7,571万円	925	12.2			
<b>公営企業会計合計</b>						23,581	26,087	2,506	
	10億3,548万円	11億0,446万円	6,898	6.2					
	10億3,548万円	11億0,446万円	6,898	6.2					
	1億0,133万円	8,255万円	1,878	22.8					
	1億6,779万円	1億5,716万円	1,063	6.8					
<b>総合計</b>	122億3,250万円	132億5,528万円	102,278	7.7	73,051	80,893	7,842		
(参考) 上川南部消防事務組合	4億3,659万円	4億3,780万円	121	0.3	24,981	25,964	983		

## 見直し等を図った経費の主なもの

### 〈一般会計〉

主な取り組み	効果額
<b>人件費の削減</b>	
退職職員の不補充	4,130万円
給与制度の見直し	1,399万円
寒冷地手当の削減	642万円
農業委員会委員定数の削減(次期改選から)	176万円
<b>受益者負担の適正化</b>	
保育料の見直し、延長保育の新設	30万円
在宅福祉サービス利用料の改正	131万円
<b>事務事業の見直し</b>	
議会広報誌の見直し(1色刷り)	22万円
町内会協力謝金の見直し(文書配布分)	19万円
広報誌発行の見直し(紙面構成等)	57万円
行財政改革推進町民会議委員謝金の廃止	13万円
町表彰・教育委員会表彰の報奨単価の見直し	14万円
職員勤続表彰記念品の廃止	4万円
敬老祝い金の見直し(100歳以上の廃止)	42万円
嘱託職員の統合(交通安全推進員・環境整備員)	200万円
旧ごみ埋立地周辺環境整備業務の見直し	39万円
農産加工実習施設管理謝金の縮減	4万円
公園等花の植栽の見直し	7万円
新入学児童用教材負担の廃止	22万円
スキー授業リフト使用料負担の廃止	51万円
特認校(江幌小)登下校送迎の見直し	83万円
学校開放事業謝金の縮減	26万円
成人式の見直し(記念品・しおりの自前作成)	10万円
郷土館・開拓記念館の機械警備の廃止	83万円
<b>経常経費の見直し</b>	
交際費の削減	47万円
食糧費・通信運搬費・消耗品費の縮減	450万円
旅費の縮減	111万円
施設管理委託経費の縮減	673万円
公用車両の削減	305万円
<b>補助金・負担金の縮減</b>	
住民会交付金の縮減	78万円
魚の棲む環境づくり事業補助の廃止	25万円
北の大文字事業補助の削減	85万円
国内外交流の会補助の廃止	10万円
国内外交流推進事業補助の廃止	250万円
町職員互助会補助の削減	42万円
納税貯蓄組合・同連合会補助の廃止	325万円
社会福祉協議会補助の縮減	161万円
高齢者事業団補助の縮減	41万円
商工振興事業補助の縮減	749万円
観光協会運営補助の縮減	147万円
介護保険在宅サービス利用促進等補助の廃止	363万円
資源回収団体補助の廃止	64万円
生活等電気料等補助の縮減(補助率10%削減)	73万円
農業後継者(新卒者・Uターン者)就農一時金の廃止	227万円
北海道観光連盟負担の縮減	12万円
全国写真甲子園大会負担の廃止	40万円

### 〈他会計〉

主な取り組み	効果額
[下水道会計] 下水道使用料の改定	1,840万円
[下水道会計] 浄化センター管理委託経費の縮減	106万円
[国保会計] 納税奨励補助の廃止	350万円
[ラベンダー・ハイツ会計] デイサービスセンターバス運行業務の見直し	540万円

平成17年度予算編成にあたっては、厳しい財政状況に対処し、健全財政を維持していくことを最優先課題とし、平成16年度に広く町民の意見を聴きながら策定した「上富良野町行財政改革実施計画」を基本として、各会計全般の事務事業の組織的な評価を行い時代のすう勢からやむなく廃止するもの、縮減可能な経費の縮減をはじめ、旅費や施設の管理経費についても節減しました。また、投資的経費においても、より緊急度の高い事業に絞り込み収支の均衡を図ることに努めました。しかし公債費などの義務的経費の増高もあり、なお財源が不足することから、

一般会計においては、特定目的基金から1億2千万円、財源調整機能を図るための財政調整基金などから、1億5千万円をそれぞれ使用するなどの財源調整を図り、平成17年度の予算案を策定しました。

今後においては、時代が急速に変化している中で、町が現在行っている数多くの事務事業を維持することは、財政的にも困難でありますので、あらゆる角度から評価検討を加え、今後も維持すべきものや廃止あるいは縮減するものなどに分類し、取捨選択していくことが大変に重要であります。

一方、行政活動を支えるうえでの財源をどのように確保するのが重要な課題であります。町税をはじめ使用料などの自主財源を確保する取組みを進め、行政経費とのバランスも図っていく

## 行財政改革の推進 1億8千200万円の効果

平成17年度予算では、その「行財政改革実施計画」に基づき、「行政内部改革」及び「住民との協働による改革」を推進することで左表のとおり、約1億8千200万円の改革事項に取組むこととなりました。

この中には、下水道料金の改定や保育料の見直し、また100歳以上の敬老祝

い金や納税貯蓄組合補助の廃止、生活灯電気料補助の縮減など、町民の皆様にご負担やご協力をお願いする事項も数多く含まれています。

行財政改革の取組み状況(成果報告)や、平成17年度の取組み予定などについては、あらためて皆様にお知らせします。

「持続可能な財政構造への転換」「協働のシステムづくり」「行政資源の戦略的・重点的な活用」の実現に向けて、行財政改革を着実に実践していきますので、今後とも皆様のご理解とご協力をお願いいたします。